【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】令和2年11月12日(2020.11.12)

【公表番号】特表2019-531727(P2019-531727A)
【公表日】令和1年11月7日(2019.11.7)
【年通号数】公開・登録公報2019-045
【出願番号】特願2019-516121(P2019-516121)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｑ　1/6869　(2018.01)
Ｃ４０Ｂ　40/06　(2006.01)
Ｃ１２Ｍ　1/00　(2006.01)
Ｃ１２Ｑ　1/686　(2018.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｑ　1/6869　Ｚ
Ｃ４０Ｂ　40/06
Ｃ１２Ｍ　1/00　Ａ
Ｃ１２Ｑ　1/686　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】令和2年9月23日(2020.9.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
シーケンシング用の生物学的サンプルを調製するために複数のライブラリー調製プロトコルを行うように構成されるライブラリー調製デバイスを作動するための方法であって、該複数のライブラリー調製プロトコルの各々は、ライブラリー調製作動の異なるセットを含み、該方法は、
該複数のライブラリー調製プロトコルのうちの１つのライブラリー調製プロトコルを生物学的サンプルに対して行って、該シーケンシング用の生物学的サンプルを調製するように該ライブラリー調製デバイスを構成する工程であって、ここで該ライブラリー調製デバイスを構成する工程は、
該生物学的サンプルおよび該ライブラリー調製プロトコルを行うにあたって該ライブラリー調製デバイスによって使用される少なくとも１つのリソースと関連する符号化された識別子を示す情報を受容する工程、
該符号化された識別子を示す情報における少なくとも一部に基づいて、ライブラリー調製プロトコルの該セットから実行される該ライブラリー調製プロトコルを選択する工程、ならびに
該選択する工程において選択された該ライブラリー調製プロトコルが、該生物学的サンプルに対して行われるであることを示す情報を記憶する工程、
を包含する工程；ならびに
該ライブラリー調製デバイスを、該生物学的サンプルに対して該ライブラリー調製プロトコルを行って、該シーケンシング用の生物学的サンプルを調製するように作動する工程、
を包含する方法。
【請求項２】

前記ライブラリー調製プロトコルを選択する工程は、前記符号化された識別子に基づき、かつ／または該選択において人間の介入なしで前記ライブラリー調製プロトコルを自動的に選択する工程を包含する、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記生物学的サンプルおよび前記少なくとも１つのリソースと関連する符号化された前記識別子は、電子的に読み取り可能な識別子であり、必要に応じて前記生物学的サンプルと関連する前記符号化された識別子は、バーコードであり、前記コードされた識別子を示す情報を受容する工程は、前記バーコードをスキャンする工程を包含し、または
前記生物学的サンプルと関連する前記符号化された識別子は、近距離無線通信（ＮＦＣ）タグであり、前記符号化された識別子を示す情報を受容する工程は、前記ＮＦＣタグをインターロゲートする工程を包含する、
請求項１または２に記載の方法。
【請求項４】
前記生物学的サンプルおよび前記少なくとも１つのリソースと関連する符号化された識別子を示す情報を受容する工程は、該生物学的サンプルを同定し、かつ前記ライブラリー調製プロトコルを行う間に該生物学的サンプルを保持するように構成されたカートリッジを同定する情報を受容する工程を包含し；そして
前記ライブラリー調製プロトコルを選択する工程は、該カートリッジを示す情報における少なくとも一部に基づいて、該プロトコルを選択する工程を包含する、
請求項１～３のいずれか一項に記載の方法。
【請求項５】
前記カートリッジは、前記複数のライブラリー調製プロトコルのうちの１またはこれより多くのライブラリー調製プロトコルでの使用のために構成されたタイプのものであり、該カートリッジは、少なくとも一部が、該１またはこれより多くのライブラリー調製プロトコルの実施において使用される該カートリッジ内に予め配置した物質を含めることによって、実施のために配列され；
前記カートリッジを同定する情報は、該カートリッジのタイプを同定する情報を含み；そして
前記ライブラリー調製プロトコルを選択する工程は、該カートリッジのタイプを同定する情報における少なくとも一部に基づいて、該プロトコルを選択する工程を包含する、
請求項４に記載の方法。
【請求項６】
前記生物学的サンプルおよび前記少なくとも１つのリソースと関連する前記符号化された識別子を示す情報を受容する工程は、行われる前記ライブラリー調製プロトコルにおいて使用される少なくとも１つの物質を同定する情報を受容する工程を包含し；そして
前記ライブラリー調製プロトコルを選択する工程は、該ライブラリー調製プロトコルにおいて使用される該少なくとも１つの物質を同定する情報に基づいて、該ライブラリー調製プロトコルを選択する工程を包含する、
請求項１～５のいずれか一項に記載の方法。
【請求項７】
前記生物学的サンプルおよび前記少なくとも１つのリソースと関連する前記符号化された識別子を示す情報を受容する工程は、前記ライブラリー調製プロトコルを行う間に前記生物学的サンプルを保持するように構成されたカートリッジと関連する符号化された識別子を受容する工程を包含し；
前記ライブラリー調製デバイスを構成する工程は、少なくとも１つのデータストアからおよび該符号化された識別子に基づいて、該生物学的サンプルを同定しかつ該ライブラリー調製プロトコルによって使用される該少なくとも１つのリソースを同定する情報を検索する工程をさらに包含し；そして
該ライブラリー調製プロトコルを選択する工程は、該ライブラリー調製プロトコルを、該生物学的サンプルおよび該少なくとも１つのリソースを同定する検索情報に基づいて選

択する工程を包含する、
請求項１～６のいずれか一項に記載の方法。
【請求項８】
前記ライブラリー調製デバイスを構成する工程は、
該ライブラリー調製デバイスを作動して、前記ライブラリー調製プロトコルのライブラリー調製作動を行うスケジュールを決定する工程；および
該ライブラリー調製デバイスを作動する工程は、該ライブラリー調製デバイスを作動して、該スケジュールに従って該ライブラリー調製作動を行う工程、
複数のスケジュール選択肢の完了予定時間を、前記ライブラリー調製デバイスで前記ライブラリー調製プロトコルのライブラリー調製作動を行うために評価する工程；および
該評価の結果に基づいて、該複数のスケジュール選択肢のうちの１つを選択する工程
をさらに包含し；かつ／または前記スケジュールを決定する工程は、前記ライブラリー調製プロトコルの前記ライブラリー調製作動の少なくとも第１の部分を行う予定継続時間に関する第１の記憶された情報を評価する工程、および該ライブラリー調製選択肢の少なくとも第２の部分に関して、作動の完了後でその後の作動を開始する前に、継続時間の許容差に対して第２の記憶された情報を評価する工程をさらに包含する、
請求項１～７のいずれか一項に記載の方法。
【請求項９】
前記ライブラリー調製デバイスは、生物学的サンプルに対してライブラリー調製プロトコルを行う複数のサンプルウェルを含み；そして
該複数のサンプルウェルのうちの第１のサンプルウェルにおいて該ライブラリー調製プロトコルを行うためのスケジュールを決定する工程は、該ライブラリー調製デバイスの第２のサンプルウェルにおいて第２の生物学的サンプルに対する第２のライブラリー調製プロトコルを行うための第２のスケジュールを評価する工程をさらに包含する、
請求項８に記載の方法。
【請求項１０】
前記ライブラリー調製デバイスを作動して、前記生物学的サンプルに対して前記ライブラリー調製プロトコルを行う工程は、該ライブラリー調製デバイスを作動して、ライブラリー調製作動を行う工程を包含し、該ライブラリー調製作動を行う工程は、該ライブラリー調製デバイスを作動して、該生物学的サンプルのうちの少なくとも一部を、ある継続時間にわたってある温度に曝す工程を包含する、請求項１～９のいずれか一項に記載の方法。
【請求項１１】
前記ライブラリー調製デバイスを作動して、前記生物学的サンプルに対して前記ライブラリー調製プロトコルを行う工程は、前記ライブラリー調製デバイスを作動して、ライブラリー調製作動を行う工程を包含し、該ライブラリー調製作動を行う工程は、該ライブラリー調製デバイスを作動して、ある体積の物質を、該ライブラリー調製デバイス内の第１の位置から第２の位置へと移動する工程を包含する、請求項１～１０のいずれか一項に記載の方法。
【請求項１２】
前記ライブラリー調製プロトコルが完了したか否かの示度を提供する工程および該ライブラリー調製プロトコルが完了と示される場合に、前記ライブラリー調製デバイスの開口部のロックを外す工程
をさらに包含し、必要に応じて
前記ライブラリー調製デバイスは、複数のカートリッジベイを含み、各々は、生物学的サンプルに対してライブラリー調製プロトコルを行うカートリッジを保持するように構成され；
前記方法は、該ライブラリー調製プロトコルを該複数のカートリッジベイのうちの第１のカートリッジベイに位置した第１のカートリッジにおいて行うように、該ライブラリー調製デバイスを構成する工程を包含し；そして
該方法は、該第１のカートリッジにおいて該ライブラリー調製プロトコルのうちの少な

くとも一部を行う間に、該複数のカートリッジベイのうちの第２のカートリッジベイへのアクセスを防止する工程をさらに包含する、請求項１～１１のいずれか一項に記載の方法。
【請求項１３】
生物学的サンプルに含まれる少なくとも１つの核酸配列を決定するために、該生物学的サンプルに対して行われるシーケンシングプロセスを構成する工程をさらに含む、請求項１～１２のいずれか一項に記載の方法であって、該方法は、
シーケンシング用の生物学的サンプルを調製するために該生物学的サンプルに対してライブラリー調製プロトコルを行ったライブラリー調製デバイスによって生成されるサンプル情報を受容する工程であって、該サンプル情報は、少なくとも１つの核酸を含む該生物学的サンプルを同定する工程；
該ライブラリー調製デバイスによって生成されたサンプル情報を処理して、該生物学的サンプルに対して該シーケンシングプロセスを行うシーケンシングデバイスの構成情報を生成する工程であって、該構成情報は、該シーケンシングデバイスが該シーケンシングプロセスの実施を調節する少なくとも１つのパラメーターを同定する工程；ならびに
該シーケンシングデバイスの該構成情報を、少なくとも１つのデータストアに記憶する工程
を包含する方法。
【請求項１４】
前記サンプル情報を受容する工程は、前記生物学的サンプルに対して行われるライブラリー調製プロトコルを同定する情報を受容する工程を包含し、必要に応じて前記サンプル情報を受容する工程は、ライブラリー調製プロトコルの実施の結果に関する情報を受容する工程を包含し、必要に応じて前記サンプル情報を受容する工程は、前記生物学的サンプルに対してｑＰＣＲプロセスを行う工程からの結果に関する情報を受容する工程を包含する、請求項１３に記載の方法。
【請求項１５】
生物学的サンプルに対して行われるシーケンシングプロセスの結果を分析して、該生物学的サンプルに含まれる核酸配列を決定する工程をさらに含む、請求項１３または１４に記載の方法であって、該方法は、
シーケンシング用の生物学的サンプルを調製するために該サンプルに対してライブラリー調製プロトコルを行ったライブラリー調製デバイスによって生成されるサンプル情報を受容する工程であって、該サンプル情報は、該生物学的サンプルおよび該生物学的サンプルに対して行われたライブラリー調製プロトコルを同定する工程；
該生物学的サンプルに対して行われた該シーケンシングプロセスの結果を受容する工程であって、該結果は、該シーケンシングプロセスの間に該生物学的サンプルにおいて検出される少なくとも１つの核酸配列を同定する工程；
該ライブラリー調製デバイスによって生成された該サンプル情報の少なくとも一部に基づいて、該シーケンシングプロセスの結果に対して行われる分析プロセスを構成する工程；
該シーケンシングプロセスの結果を、該構成された分析プロセスで分析する工程；および
該構成された分析プロセスの結果を記憶する工程、
を包含する方法。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０２４２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０２４２】

例えば、１つもしくはこれより多くの物品、構造、力、フィールド、流れ、方向／軌跡、および／もしくはこれらの部分構成要素および／もしくはこれらの組み合わせならびに／またはこのような用語による特徴付けに従う上記で列挙されない任意の他の触知可能なまたは触知不能な要素のあるいはこれらの間の形状、配向、アラインメント、および／または幾何的関係性に関して本明細書で使用される場合の任意の用語は、別段定義されるかまたは示されることがなければ、このような用語の数理的定義への絶対的適合を要しないと理解されるものとするが、むしろ、このような主題に最も近く関連する当業者によって理解されるように特徴づけられるような主題に関して考えられる程度まで、このような用語の数理的定義への適合を示すと理解されるものとする。形状、配向、および／または幾何的関連性に関するこのような用語の例としては、以下を記載する用語が挙げられるが、これらに限定されない：形状（例えば、丸い、四角の、環状の／環、矩形の／矩形、三角形の／三角形、円筒状の／円筒、楕円状の／楕円、（ｎ）角形の／（ｎ）角形など）；角度配向（例えば、垂直の、直交の、平行の、鉛直の、水平の、共線の、など）；輪郭および／または軌跡（例えば、平面／平面状、同一平面上、半球状（ｈｅｍｉｓｐｈｅｒｉｃａｌ）、半球状（ｓｅｍｉ－ｈｅｍｉｓｐｈｅｒｉｃａｌ）、直線／直線状、双曲線の、放物線の、平らな、弯曲した、まっすぐな、弓状の、正弦波の、接線／接線のなど）；方向（例えば、北、南、東、西など）；表面および／またはバルク物質特性および／または空間／時間分解および／または分布（例えば、滑らかな、反射性の、透明な、透き通った、不透明な、剛性の、不浸透性の、均一な（に）、不活性な、非湿潤性の（ｎｏｎ－ｗｅｔｔａｂｌｅ）、不溶性の、固定した、不変の、一定の、均質な、など）；ならびに関連分野の当業者に明らかな多くの他のもの。一例として、「四角」であると本明細書で記載される製作された物品は、このような物品が、完全に平面のまたは直線状でありかつ正確に９０度の角度で横断する面または側面を有することは要求されない（実際に、このような物品は、数理的抽象化として存在し得るに過ぎない）が、むしろ、このような物品の形状は、「四角の」（数理的に定義されるとおり）を、代表的には、当業者によって理解されるかまたは具体的に記載されるとおりの記載される製作技術のために達成可能でありかつ達成される程度に近いと解釈されるである。別の例として、「整列され（ａｌｉｇｎｅｄ）」る本明細書で記載される２つまたはこれより多くの製作された物品は、このような物品が完璧に整列される面または側面を有することは要求されない（実際に、このような物品は、数理的抽象化として存在し得るに過ぎない）が、むしろ、このような物品の配置は、「整列される」（数理的に定義されるとおり）を、代表的には、当業者によって理解されるかまたは具体的に記載されるとおりの記載される製作技術のために達成可能でありかつ達成される程度に近いと解釈されるである。

特定の実施形態では、例えば以下の項目が提供される。

（項目１）

シーケンシング用の生物学的サンプルを調製するために複数のライブラリー調製プロトコルを行うように構成されるライブラリー調製デバイスを作動するための方法であって、該複数のライブラリー調製プロトコルの各々は、ライブラリー調製作動の異なるセットを含み、該方法は、

該複数のライブラリー調製プロトコルのうちの１つのライブラリー調製プロトコルを生物学的サンプルに対して行って、該シーケンシング用の生物学的サンプルを調製するように該ライブラリー調製デバイスを構成する工程であって、ここで該ライブラリー調製デバイスを構成する工程は、

該生物学的サンプルおよび該ライブラリー調製プロトコルを行うにあたって該ライブラリー調製デバイスによって使用される少なくとも１つのリソースと関連する符号化された識別子を示す情報を受容する工程、

該符号化された識別子を示す情報における少なくとも一部に基づいて、ライブラリー調製プロトコルの該セットから実行される該ライブラリー調製プロトコルを選択する工程、ならびに

該選択する工程において選択された該ライブラリー調製プロトコルが、該生物学的サ

ンプルに対して行われるであることを示す情報を記憶する工程、
を包含する工程；ならびに
該ライブラリー調製デバイスを、該生物学的サンプルに対して該ライブラリー調製プロトコルを行って、該シーケンシング用の生物学的サンプルを調製するように作動する工程、
を包含する方法。
（項目２）
前記ライブラリー調製プロトコルを選択する工程は、前記符号化された識別子に基づいて前記ライブラリー調製プロトコルを自動的に選択する工程を包含する、項目１に記載の方法。
（項目３）
前記ライブラリー調製プロトコルを選択する工程は、該選択において人間の介入なしで該ライブラリー調製プロトコルを選択する工程をさらに包含する、項目２に記載の方法。
（項目４）
前記生物学的サンプルおよび前記少なくとも１つのリソースと関連する符号化された前記識別子は、電子的に読み取り可能な識別子である、項目１に記載の方法。
（項目５）
前記生物学的サンプルと関連する前記符号化された識別子は、バーコードである、項目４に記載の方法。
（項目６）
前記コードされた識別子を示す情報を受容する工程は、前記バーコードをスキャンする工程を包含する、項目５に記載の方法。
（項目７）
前記ライブラリー調製デバイスは、バーコードスキャナーを含み；そして
前記符号化された識別子を示す情報を受容する工程は、該バーコードを、該ライブラリー調製デバイスの該バーコードスキャナーでスキャンする工程を包含する、
項目６に記載の方法。
（項目８）
前記生物学的サンプルと関連する前記符号化された識別子は、近距離無線通信（ＮＦＣ）タグである、項目４に記載の方法。
（項目９）
前記符号化された識別子を示す情報を受容する工程は、前記ＮＦＣタグをインターロゲートする工程を包含する、項目８に記載の方法。
（項目１０）
前記ライブラリー調製デバイスは、ＮＦＣインターロゲーターを含み；そして
前記符号化された識別子を示す情報を受容する工程は、前記ＮＦＣタグを、該ライブラリー調製デバイスの該ＮＦＣインターロゲーターでインターロゲートする工程を包含する、
項目９に記載の方法。
（項目１１）
前記生物学的サンプルおよび前記少なくとも１つのリソースと関連する前記符号化された識別子を示す情報を受容する工程は、該生物学的サンプルと関連する情報を受容する工程を包含する、項目１に記載の方法。
（項目１２）
前記生物学的サンプルおよび前記少なくとも１つのリソースと関連する符号化された識別子を示す情報を受容する工程は、該生物学的サンプルを同定し、かつ前記ライブラリー調製プロトコルを行う間に該生物学的サンプルを保持するように構成されたカートリッジを同定する情報を受容する工程を包含し；そして
前記ライブラリー調製プロトコルを選択する工程は、該カートリッジを示す情報における少なくとも一部に基づいて、該プロトコルを選択する工程を包含する、

項目１に記載の方法。
（項目１３）
前記カートリッジは、前記複数のライブラリー調製プロトコルのうちの１またはこれより多くのライブラリー調製プロトコルでの使用のために構成されたタイプのものであり、該カートリッジは、少なくとも一部が、該１またはこれより多くのライブラリー調製プロトコルの実施において使用される該カートリッジ内に予め配置した物質を含めることによって、実施のために配列され；
前記カートリッジを同定する情報は、該カートリッジのタイプを同定する情報を含み；そして
前記ライブラリー調製プロトコルを選択する工程は、該カートリッジのタイプを同定する情報における少なくとも一部に基づいて、該プロトコルを選択する工程を包含する、
項目１２に記載の方法。
（項目１４）
前記生物学的サンプルおよび前記少なくとも１つのリソースと関連する前記符号化された識別子を示す情報を受容する工程は、行われる前記ライブラリー調製プロトコルにおいて使用される少なくとも１つの物質を同定する情報を受容する工程を包含し；そして
前記ライブラリー調製プロトコルを選択する工程は、該ライブラリー調製プロトコルにおいて使用される該少なくとも１つの物質を同定する情報に基づいて、該ライブラリー調製プロトコルを選択する工程を包含する、
項目１に記載の方法。
（項目１５）
前記生物学的サンプルおよび前記少なくとも１つのリソースと関連する前記符号化された識別子を示す情報を受容する工程は、前記ライブラリー調製プロトコルを行う間に前記生物学的サンプルを保持するように構成されたカートリッジと関連する符号化された識別子を受容する工程を包含し；
前記ライブラリー調製デバイスを構成する工程は、少なくとも１つのデータストアからおよび該符号化された識別子に基づいて、該生物学的サンプルを同定しかつ該ライブラリー調製プロトコルによって使用される該少なくとも１つのリソースを同定する情報を検索する工程をさらに包含し；そして
該ライブラリー調製プロトコルを選択する工程は、該ライブラリー調製プロトコルを、該生物学的サンプルおよび該少なくとも１つのリソースを同定する検索情報に基づいて選択する工程を包含する、
項目１に記載の方法。
（項目１６）
前記ライブラリー調製デバイスを構成する工程は、
該ライブラリー調製デバイスを作動して、前記ライブラリー調製プロトコルのライブラリー調製作動を行うスケジュールを決定する工程；および
該ライブラリー調製デバイスを作動する工程は、該ライブラリー調製デバイスを作動して、該スケジュールに従って該ライブラリー調製作動を行う工程、
をさらに包含する、
項目１に記載の方法。
（項目１７）
前記スケジュールを決定する工程は、
複数のスケジュール選択肢の完了予定時間を、前記ライブラリー調製デバイスで前記ライブラリー調製プロトコルのライブラリー調製作動を行うために評価する工程；および
該評価の結果に基づいて、該複数のスケジュール選択肢のうちの１つを選択する工程
を包含する、項目１６に記載の方法。
（項目１８）
前記スケジュールを決定する工程は、前記ライブラリー調製プロトコルの前記ライブラリー調製作動の少なくとも第１の部分を行う予定継続時間に関する第１の記憶された情報を

評価する工程、および該ライブラリー調製選択肢の少なくとも第２の部分に関して、作動の完了後でその後の作動を開始する前に、継続時間の許容差に対して第２の記憶された情報を評価する工程をさらに包含する、項目１６に記載の方法。
（項目１９）
前記ライブラリー調製デバイスは、生物学的サンプルに対してライブラリー調製プロトコルを行う複数のサンプルウェルを含み；そして
該複数のサンプルウェルのうちの第１のサンプルウェルにおいて該ライブラリー調製プロトコルを行うためのスケジュールを決定する工程は、該ライブラリー調製デバイスの第２のサンプルウェルにおいて第２の生物学的サンプルに対する第２のライブラリー調製プロトコルを行うための第２のスケジュールを評価する工程をさらに包含する、
項目１６に記載の方法。
（項目２０）
前記ライブラリー調製デバイスを作動して、前記生物学的サンプルに対して前記ライブラリー調製プロトコルを行う工程は、該ライブラリー調製デバイスを作動して、ライブラリー調製作動を行う工程を包含し、該ライブラリー調製作動を行う工程は、該ライブラリー調製デバイスを作動して、該生物学的サンプルのうちの少なくとも一部を、ある継続時間にわたってある温度に曝す工程を包含する、項目１に記載の方法。
（項目２１）
前記ライブラリー調製デバイスを作動して、前記生物学的サンプルに対して前記ライブラリー調製プロトコルを行う工程は、前記ライブラリー調製デバイスを作動して、ライブラリー調製作動を行う工程を包含し、該ライブラリー調製作動を行う工程は、該ライブラリー調製デバイスを作動して、ある体積の物質を、該ライブラリー調製デバイス内の第１の位置から第２の位置へと移動する工程を包含する、項目１に記載の方法。
（項目２２）
前記ライブラリー調製プロトコルが完了したか否かの示度を提供する工程および該ライブラリー調製プロトコルが完了と示される場合に、前記ライブラリー調製デバイスの開口部のロックを外す工程
をさらに包含する、項目１に記載の方法。
（項目２３）
前記ライブラリー調製デバイスは、複数のカートリッジベイを含み、各々は、生物学的サンプルに対してライブラリー調製プロトコルを行うカートリッジを保持するように構成され；
前記方法は、該ライブラリー調製プロトコルを該複数のカートリッジベイのうちの第１のカートリッジベイに位置した第１のカートリッジにおいて行うように、該ライブラリー調製デバイスを構成する工程を包含し；そして
該方法は、該第１のカートリッジにおいて該ライブラリー調製プロトコルのうちの少なくとも一部を行う間に、該複数のカートリッジベイのうちの第２のカートリッジベイへのアクセスを防止する工程をさらに包含する、
項目２２に記載の方法。
（項目２４）
生物学的サンプルに含まれる少なくとも１つの核酸配列を決定するために、該生物学的サンプルに対して行われるシーケンシングプロセスを構成するための方法であって、該方法は、
シーケンシング用の生物学的サンプルを調製するために該生物学的サンプルに対してライブラリー調製プロトコルを行ったライブラリー調製デバイスによって生成されるサンプル情報を受容する工程であって、該サンプル情報は、少なくとも１つの核酸を含む該生物学的サンプルを同定する工程；
該ライブラリー調製デバイスによって生成されたサンプル情報を処理して、該生物学的サンプルに対して該シーケンシングプロセスを行うシーケンシングデバイスの構成情報を生成する工程であって、該構成情報は、該シーケンシングデバイスが該シーケンシングプ

ロセスの実施を調節する少なくとも１つのパラメーターを同定する工程；ならびに
該シーケンシングデバイスの該構成情報を、少なくとも１つのデータストアに記憶する工程
を包含する方法。
（項目２５）
前記サンプル情報を受容する工程は、前記生物学的サンプルを同定する情報を受容する工程を包含する、項目２４に記載の方法。
（項目２６）
前記サンプル情報を受容する工程は、組織のタイプを同定する情報を受容する工程を包含する、項目２４に記載の方法。
（項目２７）
前記サンプル情報を受容する工程は、前記生物学的サンプルと関連する患者を同定する情報を受容する工程を包含する、項目２４に記載の方法。
（項目２８）
前記サンプル情報を受容する工程は、前記生物学的サンプルに対して行われたライブラリー調製プロトコルを同定する情報を受容する工程を包含する、項目２４に記載の方法。
（項目２９）
前記サンプル情報を受容する工程は、ライブラリー調製プロトコルの実施の結果に関する情報を受容する工程を包含する、項目２４に記載の方法。
（項目３０）
前記サンプル情報を受容する工程は、前記生物学的サンプルに対してｑＰＣＲプロセスを行う工程からの結果に関する情報を受容する工程を包含する、項目２９に記載の方法。
（項目３１）
前記ｑＰＣＲ結果に関する情報は、ｑＰＣＲプロセスの前記結果の強度に関する情報を含む、項目３０に記載の方法。
（項目３２）
前記ｑＰＣＲ結果に関する情報は、少なくとも１つの核酸配列および該少なくとも１つの核酸配列と関連する少なくとも１つの品質スコアを含む、項目３０に記載の方法。
（項目３３）
前記サンプル情報を処理して、構成情報を生成する工程は、前記シーケンシングデバイスのサンプルシートを生成する工程を包含する、項目２４に記載の方法。
（項目３４）
前記サンプル情報を処理して構成情報を生成する工程は、
使用される前記シーケンシングデバイスを決定する工程；および
該シーケンシングデバイスが入力情報を受容する形式で前記サンプルシートを生成する工程、
をさらに包含する、項目３３に記載の方法。
（項目３５）
前記サンプルシートは、前記生物学的サンプルを同定する情報を含む、項目３３に記載の方法。
（項目３６）
前記サンプルシートは、前記ライブラリー調製プロトコルを同定する情報を含む、項目３３に記載の方法。
（項目３７）
前記サンプルシートを前記シーケンシングデバイスに提供する工程、
をさらに包含する、項目３３に記載の方法。
（項目３８）
前記サンプルシートを前記シーケンシングデバイスに提供する工程は、該シーケンシングデバイスにネットワークを介して伝達する工程を包含する、項目３７に記載の方法。
（項目３９）

前記サンプルシートをデマルチプレックスデバイスに提供して、前記シーケンシングプロセスの結果に対してデマルチプレックスプロセスを行う工程、
をさらに包含する、項目３３に記載の方法。
（項目４０）
前記デマルチプレックスデバイスおよび前記シーケンシングデバイスは、同じデバイスである、項目３９に記載の方法。
（項目４１）
前記デマルチプレックスプロセスの結果に関する情報を受容し、該デマルチプレックスプロセスの結果を記憶する工程、
をさらに包含する、項目３９に記載の方法。
（項目４２）
前記サンプル情報を受容する工程は、該サンプル情報を前記ライブラリー調製デバイスから受容する工程を包含する、項目２４に記載の方法。
（項目４３）
前記方法は、前記ライブラリー調製デバイスによって行われ、サンプル情報を受容する工程は、サンプル情報を該ライブラリー調製デバイスのデータストアから受容する工程を包含する、項目２４に記載の方法。
（項目４４）
生物学的サンプルに対して行われるシーケンシングプロセスの結果を分析して、該生物学的サンプルに含まれる核酸配列を決定するための方法であって、該方法は、
シーケンシング用の生物学的サンプルを調製するために該サンプルに対してライブラリー調製プロトコルを行ったライブラリー調製デバイスによって生成されるサンプル情報を受容する工程であって、該サンプル情報は、該生物学的サンプルおよび該生物学的サンプルに対して行われたライブラリー調製プロトコルを同定する工程；
該生物学的サンプルに対して行われた該シーケンシングプロセスの結果を受容する工程であって、該結果は、該シーケンシングプロセスの間に該生物学的サンプルにおいて検出される少なくとも１つの核酸配列を同定する工程；
該ライブラリー調製デバイスによって生成された該サンプル情報の少なくとも一部に基づいて、該シーケンシングプロセスの結果に対して行われる分析プロセスを構成する工程；
該シーケンシングプロセスの結果を、該構成された分析プロセスで分析する工程；および
該構成された分析プロセスの結果を記憶する工程、
を包含する方法。
（項目４５）
サンプル情報を受容する工程は、該サンプル情報を前記ライブラリー調製デバイスから受容する工程を包含する、項目４４に記載の方法。
（項目４６）
前記シーケンシングプロセスの結果を受容する工程は、該結果を前記サンプル情報によって同定されたデータストアの位置から受容する工程を包含する、項目４４に記載の方法。
（項目４７）
前記シーケンシングプロセスの結果を受容する工程は、該シーケンシングプロセスの完了が前記データストアの位置をモニターすることによって決定されたときに該シーケンシングプロセスの結果を自動的に受容する工程を包含する、項目４６に記載の方法。